

## 「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクト

## タイのシーリング材・ホース生産拠点で植樹会を開催

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は9月5日（土）、自動車窓枠用シーリング材の生産販売および油圧ホースアッセンブリーの販売を行うヨコハマラバー（タイランド）カンパニーLTD. (YRTC) で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの植樹会を開催した。タイでは2拠点目、海外拠点全体ではヨコハマタイヤ・フィリピン INC.、杭州横浜輪胎有限公司（中国）、ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング（タイ）、ヨコハマタイヤコーポレーション（米国）に次いで5拠点目の植樹となる。

植樹会に向けて国内外の植樹活動全般を指導する宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）、タイでの植樹活動を指導するシリル・ゲオライヤッド博士（タイ宮内庁勤務／横浜国立大学で博士号取得）の両氏が土地本来の樹種を調査し、昨年8月下旬から調査に基づく植樹指導を受け、基盤整備や苗木の確保など準備を進めてきた。

当日は従業員とその家族をはじめ、YRTCが所在するラヨン県のウイシット・チャピサイ副知事、地域コミュニティの代表者や地域住民の皆さま、地元小学校の生徒、YRTCがあるイースタンシーボード工業団地の企業の方々など約350名が参加。プラパト・フォティウォラクンYRTC会長の挨拶や斎藤知二社長のオープニング宣言などに続き、宮脇昭氏による植樹方法の説明が行われ、参加者は土地本来の樹種を高木・低木あわせて16種類、3,500本を植樹した。

「YOKOHAMA 千年の杜」は横浜ゴム創業100周年の2017年に向けて、およそ10年かけて国内外の全生産拠点に杜を創生するプロジェクト。宮脇昭氏の指導の下、潜在自然植生に則った植樹活動を進め、国内7工場、海外グループ会社の11工場で約50万本を植樹する。すでに国内は全生産拠点で第1期植樹を完了し、今年4月から第2期植樹を展開している。海外は5拠点で第1期を完了し、現在までに国内外あわせておよそ11万本強を植樹している。



参加者による記念撮影



植樹の様子



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「EcoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株） 広報部

TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ

〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.

36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-5400-4570